

加治丘陵 がより

平成18年12月1日

第7号

NPO法人
加治丘陵山林管理グループ

平成18年度中間事業報告

当グループは発足以来4年半を経過しました。平成18年度も半ばを過ぎ森林整備事業は①山林管理面積11万㎡、②活動の動員数600人、③活動時間2000時間と着実に活動の輪も広がっている。また森林視察研修会の実施、万燈祭出店参加など、福利厚生面の充実を図った。会員各位の環境意識の高さを改めて感謝します。

スローガン 〈 ムリしない、ゆっくりと、余裕をもって 〉



理事長 小澤盛久

入間市市制施行40周年記念事業

去る11月1日入間市市民会館で「入間市市制施行40周年記念事業式典」が行われました。式典第二部は「まちづくりサポートネット元気な入間」主催の『「元気な入間」の5年間とこれから』と題した演劇でした。都市宣言から5年間の、市民と行政の協働により進めてきたまちづくりの成果の一端をお知らせするとともに、市民が実践している活動を紹介するものでした。市民の財産である加治丘陵の環境保全に努めておられるグループの活動紹介は、700人の招待者にその存在をアピールされました。ご出演ありがとうございました。

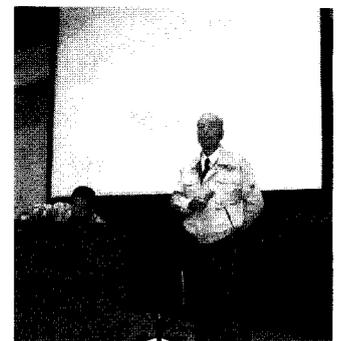
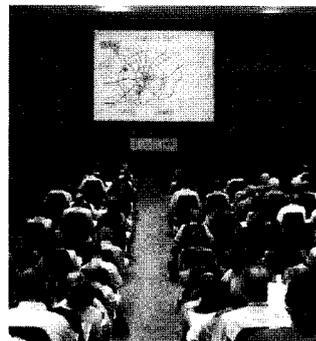
(まちづくりサポートネット元気な入間 大杉直行氏)



駿河台大学公開講座

「彩・ふるさと喜楽学」で小澤理事長熱弁ふるう

5月20日(土)駿河台大学公開講座「彩・ふるさと喜楽学」で「加治丘陵の保全を通じたふるさとのまちづくり」をテーマに、約400名の飯能市、入間市の市民を前に、小澤理事長が、約1時間半にわたり、加治丘陵、阿須丘陵の生態系保護や環境保全への取り組みについて講演し、多数の聴講者から大好評を得、当グループの存在価値をアピールした。(総務班長 山西 素直)



第28回 入間市制40周年記念

入間万燈まつりへ出店

実行委員長 大山 博

平成18年10月21日(土)～22日(日)の2日間開催され、昨年より3万人多い推定40万人の人出で賑った。当グループも4回目となる出店で、例年と同じ「げそ付生イカ」を中心に販売した。入間市万燈まつり実行委員会の出店要領に基づき、当グループでも打合せ会議を重ね、準備に万端を期し、当日に備えた。

入間万燈まつりの基本方針（市民の力、まちの力が創る入間万燈まつり）とあり、人と人が繋がり、過去と未来がふれあい、文化と友情を紡ぎ合う市民融合の結晶が「入間万燈まつり」である。万燈（萬の光）の下に集う参加者たちは、市民の力と地域文化に触れることで多くの感動を憶え、ふるさとを愛する心を育むことができる。



そして、ここに集う市民の創造力と智慧を結集し、ふるさと入間の魅力を発信する多くの市民が力を合わせ参画、運営する。さらに入間市民であることに誇りと責任をもてる真の「市民協働」を実現させるために実施するものとしている。

当グループも、平成15年4月に法人設立以来、会員270名、賛助会員70社と大きな組織に成長し、確固たる基盤を築き上げてきた。このまつりで更に存在価値を高める為、多くの有志会員が参加して貢献したと思う。そして会員同志の親睦も大いに深められ、このまつり参加出店は大きな意義があった。

会員各位に深く感謝とお礼を申し上げます。

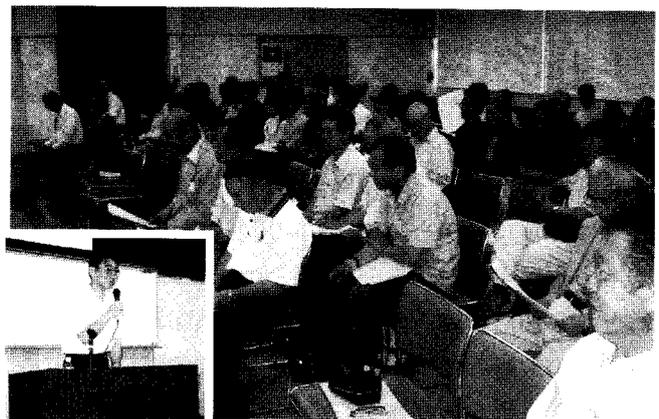


第4回定時総会&講演会開催

18. 6. 18 (日)
於 入間市市民活動センター

事務局長 大山 博

第4回NPO法人加治丘陵山林管理グループの定時総会が、小田議長のもと全議案は万場一致で決議され無事終了しました。小沢理事長から平成17年度事業報告並びに当グループの現状についての報告の後、第①号議案 平成17年度収支計算書(案) 第②号議案 平成17年度貸借対照表(案) 第③号議案 平成17年度財産目録(案) が大山事務局長から説明があり、第4号議案 平成18年度事業計画(案)及び収支予算(案) 第5号議案 創立5周年記念事業の開催(案) 第6号議案 役員改選(案) について小沢理事長から各々説明があり、全ての議案は万場一致で決議されました。本年度も前年と同様18万平方mを目標に掲げ、安全第一をモットーに更なる飛躍を図っていきます。創立5周年記念事業は、○記念講演 ○記念写真展 ○記念視察研修 ○記念品の配布 ○記念誌の発刊 ○記念野外研修開催(地元小、中学校との協賛) ○事業費80万円を積立て ○平成19年4月から一年間を記念事業期間とします。記念講演は、入間市環境アドバイザー伊藤安男先生(市内河原町)を迎え、(写真)演題「入間市の環境・大気と水質を中心に」は大変好評でした。



【総会員数266名、出席会員182名(内本人出席83名・委任状99名)により開催成立】

NPO法人（特定非営利活動法人）とは（第4回）

～ NPO法人の資金源 ～ 多様な資金源があり、これらのバランスが大切です。

- ①会費 会員からの毎年継続的、安定財源で、会員増となれば会費収入は増加します。
- ②寄付金 個人、あるいは企業から、NPO法人の理念に共感し、支援をする為に行われる会費以外の金銭的寄付。他に物による寄付も考えられます。
- ③事業収入 団体が行うサービス提供の対価、イベントや講座の参加費、出版、生産物の売上等の事業を行うことによって得られる収入です。「本来事業」は、行政からの受託事業に対する対価として、「その他事業」はイベント収入等で「本来事業」に収益を補填します。
- ④助成金 自治体、財団、基金が一定の審査をし、費用の一定割合を助成する資金です。
- ⑤補助金 特定の事業の必要経費を政府や自治体が補助するもので限定されます。
- ⑥借入金 金融機関、団体、個人等から借入れる資金で、極めて限定されます。

平成18年度

元気な入間まちづくり研修講座・入門編

第2回現地視察に参加して（まちづくりサポートネット元気な入間会員 藤木 照治氏）

活動現場では34名の会員の方が慣れた手つきで、刈り払い機や斧、チェーンソーを使いドンドン作業が進み、みるみる山がきれいになっていきます。運営がうまく機能していることが感じられました。目的を持ちマネジメントされた組織はNPOであっても機能的な活動が出来ると驚くと同時に、有意義な活動をされている様子を拝見して感動を覚えた視察でした。



カブト虫にチビっ子大集合

カブト虫体験が平成16年から始まり、今年で3年目。床作りから始り、やっと床上が完成した。畑と違い山の荒地からのスタートの為時間がかかる。自然繁殖させるには何年もかかる。床の温度もその年によって違い、幼虫の生育も悪かったり良かったり。いろいろな状況の中、発育状態を調査、いつ頃成虫になるかの判断が大切。今年もメンバーの苦勞が実を結び成功した。何事も急がず、ゆっくり、余裕をもって事に当たること成功の秘訣。子供達の喜びの声、顔がその一日を楽しくさせる。又、来年に期待したい。（副理事長 清水 徳三）



短歌

会員No.173 藤原 吉枝（浪花）

季節の詩

- (1) 我が街の 誇れる自然加治丘陵 汗して守るNPO
- (2) 今ここに 集える仲間いつ迄も 若く元気で健やかであれ
- (3) 楽しくて また悲しみの浮世なり あの世とやらは何処にあるのか

二寄稿文

里山体験

会員No.239 宮寺 茂子

加治丘陵の活動に参加して、早や約二年となります。寒い一月から始め、新緑がきれいな頃の杉花粉、初夏や残暑の陽ざしでヘルメットが熱くなる時もありましたが、楽しく続けてきました。共同で作業をしていると広大な範囲が速やかに片づいていきます。藤のつるの強さに驚いたり、松茸は無かったけれど、大いに自然を楽しむことができました。作家のニコル氏が黒姫山の森を買って、手入れをしている映像を見たことがあります、木と木の間がゆったりとして、そこに朝の陽光が差し込み、自然の美しさを感じました。加治丘陵も市の里山として、人々から愛され、親しまれ、より美しく変わっていくことを期待します。

広報編集委員募集

当グループでは、「加治丘陵だより」を年2回発刊し、今回で第7号となりました。

- ・ 広報に興味のある方
- ・ 広報編集に携わった経験のある方
- ・ 広報編集を手伝いたいと思う方

若干名

(この人と思う方を推薦して下さい)

連絡先

理事長 小澤盛久 ☎2966-3131

事務局長 大山 博 ☎2964-0365

研修・イベント情報

- 鎌・鋸の取扱いについての研修 (実施済)
7月9日(日) 於 加治丘陵管理センター
- 刈払機・チェーンソー取扱研修 (実施済)
7月23日(日) 於 加治丘陵グループ現場
- さとやま探検隊へ参加 (実施済)
11月12日(日) 於 市炭焼き炉他
- 山林内の救急活動訓練 (予告)
作業活動中に、いつ、どのような事故が発生しても、冷静適切な対応が出来るよう、入間市消防本部の指導により、想定訓練を実施予定。他数参加下さい。
平成19年1月24日(水) 9時~12時
於 農村環境改善センター&近くの山林

第4回 森林視察研修会 (実施済)

9月16日(土)参加者45名。名栗湖のカヌー工房見学後、名郷地区の森林を視察。手入れの行届いた森林は清々しい。懇親会は民宿西山荘で開催、市環境部峯岸副参事より講話があり、小宴は会員同志の親睦に役立ち有意義だった。

(研修班長 山中洋忠)



編集後記

今年も早や師走。我々の活動は順調に推移しています。5月駿河台大学での喜楽学公開講座で理事長の講演に始まり、6月定時総会、7月児童センターとの共催でのチビっ子カブト出大会、9月の森林視察研修、11月市制40周年記念式典や入間万燈まつりに参加、各々その存在感をアピールした。混とんとした世の中ですが、当グループは会員同士の親睦を第一と考え、安全をモットーにこれからも大いに汗を流しての活発な活動を期待します。

事務局長 大山 博

発行責任者：小澤盛久 〒358-0023入間市扇台3-1-1 ☎04-2966-3131